

平成29年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生を防ぐことを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長が補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長、教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画

課題		目標	行動計画		実施予定
1	公務外非行の防止	公務外であっても、法令遵守の意識を持ち、公務員として自覚ある行動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員行動指針の共有化をはかる ・啓発資料等により、法令遵守意識の向上をはかる 	副校長	4月
					通年
2	体罰、不適切な指導、セクハラ、パワハラ行為の防止	子どもの人権について理解を深めるとともに、教職員の人権意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権について理解を深め、人権意識を向上させるための研修会を実施する ・啓発資料等により、体罰、不適切指導、ハラスメント防止に向けた意識の向上をはかる 	総務管理GL 教育推進GL	12月 2月
3	交通事故・交通違反の防止	法令の遵守と安全運転を励行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料等により、交通事故、交通違反防止に向けた意識向上、注意啓発をはかる 	副校長	12月
4	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の保護等についての理解を深め、適切な情報管理を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護についての理解を深め、入学選抜業務、書類作成に係る情報を適切に管理するための点検を実施する 	教務企画GL 学部L	11月
5	業務執行体制の確保と事故の未然防止	業務協力体制、相互チェック体制を確立し、教育活動における事故を未然に防ぐ意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例の収集フォームについて検証する ・ヒヤリハット再発防止策、未然防止策について検討検証する 	教務企画GL 連携支援GL	7月 3月

3 プログラムの実施及び検証

(1) 定期検証

2に規定する行動計画について、随時確認する。また、各目標達成に向けて行動計画を追加・修正する必要がある場合は、随時必要な追加・修正を行う。

(2) 最終検証

2に規定する行動計画について、平成30年3月初旬までに実施状況を確認すると共に、各目標達成についての評価を行う。その結果を踏まえて、平成30年度における横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラムを策定する。